

〈説明・協議〉

I 令和6年度 北海道小平高等養護学校 学校評価について（教頭：三浦）

資料やスライドを活用して、集計結果について説明した。また、2グループに分かれ、「ICT機器を活用した指導の充実」「地域と連携した教育活動の推進」「地域への情報提供や理解啓発」の3点について協議を行い、改善の方策について検討した

挙げられた質問と回答

- ・「地域と連携・協働した多様な教育活動の推進」について、教職員の達成率が少ない点について、考えられる要因は何か。
- 「あなたは～」という質問になっているため、「個人として」回答したと考えられる。一方で、担当者だけでなく教職員一人一人が意識していく必要があるとも捉えられる。

挙げられた意見

- ・使っていき、慣れていくことが必要と思われる。時代の変化に応じて学校や寄宿舍で活用できていることは魅力的である。
- ・子どもたちが幼いうちから手にするタブレット端末は生活に身近であり、社会生活においても活用していくスキルが求められる。また、容易に情報共有できたり、ペーパーレス化を図ることができるツールである。
- ・オンラインゲームなど、いつでも誰とでもつながることが可能なため、安全に使用するための指導が必要となる。犯罪と表裏一体なところもあるため、情報活用能力の育成など目的を理解して活用できると良い。
- ・更生園や本校が鬼鹿地区だけでなく小平町として人口増に貢献できている。
- ・高齢者の方々と関わる時間を設けられると良い。
- ・総合的な探究の時間などで生徒が地域に出てきてくれるのはありがたい。
- ・鬼鹿地区全体での運動会など、連携を広げた企画を推進できると良い。
- ・地域がどれほど情報を求めているかを確認することが大切ではないか。また、「なぜ学校から発信してくれないのか。」という印象をもってしまっている方もいるかもしれない。
- ・ホームページは学校関係者や本校への入学を見据えている方々が見ることが多いのではないかな。
- ・Youtubeは今年度から実施している。インスタグラムの方が身近で目に入りやすいのではないかな。

〈説明〉

II 北海道小平高等養護学校 開校30周年記念事業について（総務部長：扇子）

スライドを活用して、開校30周年記念事業計画案について説明した。

III 本校の学習面における地域とのつながりについて（地域コーディネーター：高橋）

スライドを活用して、今年度と過去に実施していた学習面における地域とのつながりについて説明した。

〈交 流〉

2 グループに分かれ、本日の説明内容を踏まえて意見交流を行った。

挙げられた意見

- ・学校だよりの掲示、製品展示、動画配信など、「群来る」を有効活用して様々な方法でアピールができると良いのではないかな。
- ・窓クリーニング、かるた大会など、小学校とも何かしらの形で交流する機会があると良い。
- ・体育大会では競技の手伝い、玉入れなどの競技に参加、よさこいを一緒に踊るなどができれば良い。また、販売会も可能であれば行っていきたい。
- ・鬼鹿厳島神社例大祭では、更に生徒や職員と活動できる機会を増やしていきたい。出店で買物したり、最後に神輿が駆け込む様子を見てもらったりできると良い。また、本校職員が参加したことで生徒も興味をもつことができると考えるため、職員と交流する機会を増やしていけると良い。